

一般質問

武部
議員

○安全安心な街づくりについて

質 梅雨期防災について、災害に備え自助の意識や地域で助け合う共助をサポートするため、住民がとるべき行動を5段階で示した大雨洪水警戒レベルの運用について、わかりやすく説明してください。

防災課長

レベル1は警報級の大雨が降るおそれがある場合に、レベル2は大雨注意報や洪水注意報の場合に気象庁が発表します。レベル3は河川の氾濫警戒、大雨・洪水警報レベルで、避難準備・高齢者等避難開始を、レベル4は避難勧告、避難指示を、レベル5は既に災害が発生している状況等で市民に命を守るための最善の行動をとっていただくもので、市が発表します。

質 迷惑電話防止機器の貸出しについて、巧妙化した詐欺事件が多発しています。高齢者の被害防止策として機器の貸出しとその現状をお示ください。

市民生活課長

現在、市が保有している135台のうち、107台を貸し出しています。

○教育費無償化について

質 幼児教育・保育の無償化は、10

月の消費税引き上げからの実施と聞いているが、消費税が延期になって実施されるのか。松浦市保育所の現状と幼児教育・保育無償化の概要をお尋ねします。

子育て・こども課長

延期になった

場合の対応は、現段階で確定的に申し上げることは困難です。保育所では現在、待機児童は生じていません。制度の概要は、3歳から5歳児までの全ての児童と住民税非課税世帯の0歳から2歳児の幼稚園、保育所、認定こども園の保育料の無償化と就学前の障害児の発達支援の無償化が予定されています。

質 松浦市独自の施策として、0歳児から2歳でも第二子からは無償ですが、10月以降の幼児教育・保育無償後もこの施策は継続されるのか。

子育て・こども課長

利用者の負担

増とならないよう補助などの対策を今後とっていきたいと考えています。
質 給食費は市の施策として第二子無償化に含まれ実施しているが、今後はどうなるのか。保護者の負担感が生じないよう現状を維持できるように検討をお願いしたい。市長の答弁を。

市長

無償にすることで対応を考えています。なお、給食費無料といっても、副食費として徴収している分について無償で続けていきたいと考えています。

一般質問

和田
議員

○各地区版「松浦未来会議」の開催状況と第二次松浦市総合計画について

質 様々な社会的環境の変化が予想される今後10年間の松浦市の指針となる第二次総合計画に対する市長の思いをお聞かせください。

市長

可能な限り人口が減らないように、就業機会の創出、交流人口の拡大、結婚・妊娠・出産・子育てなど切れ目のない包括的な支援、移住戦略、安心して生活できる地域づくり、住環境の整備など、様々な施策を実施して、人口問題に対処していく必要があります。これまでの総合計画において想定されていなかった人口減少、そこから生じる諸問題について、市民の皆様とともに真正面から向き合い、持続可能な地域づくりについて真剣に考えていかなければならないと思っております。市民の皆様がまちづくりについて自分事として捉えていただき、参加してもらいたいと考えております。

○調川保育所の民営化にかかる諸問題について

質 来年の4月1日からの民営化を決めた理由についてお尋ねします。

子育て・こども課長

公立保育所の

民営化を進める中、調川保育所を中核的保育所と位置づけ、市内唯一の公立保育所として運営をしてまいりましたが、行政改革の方針に基づき、また、施設の老朽化に伴う整備の必要性や正規職員の定年退職に伴い管理運営の見直しを図る必要性が高まったため、来年4月からの民営化の実施に取り組むこととしました。

質 今後も各分野で、民営化などが検討されると思いますが、公共サービスのあり方、市役所組織のあり方について、市長にお尋ねします。

市長

持続可能な形で公共サービスを提供し、その質を維持していくためには、今回の調川保育所のように必要に応じた民営化や外部委託、公共施設の統合、協働によるまちづくり、小学校区単位の地域運営組織の推進、市町村の枠を超えた圏域間での連携など、あらゆる視点から検討し、実行する必要があると考えております。財政規模の縮小への対応、組織のスリム化に向けては、職員的能力向上・スキルの習得とともに、業務の共通化、標準化を行った上で、自治体クラウドやAI、RPAなどの先進技術を活用するなど、より少ない人数で効率的に事務を処理する体制を構築しつつ、削減された費用や人的資源の一部を質の高い公共サービスの提供や新たな施策へ振り向けるなど、機能的、流動的な組織体制とすることが重要と考えております。